

『時事直言』No.1765 2025年10月14日国会議員号

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](#)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

自民・国民民主連立は当然の成り行き

ニッケイ平均が 44,800 円の安値から 3,700 円高の 48,500 円までの高騰した「高市トレード」は、高市の利上げ消極観と積極財政期待という「間違った想定」によるものである。

10 月 10 日金曜日のニッケイ平均現物は 491 円安の 48,088 円、先物は夜間取引後のシカゴニッケイ 225 先物で東京の終わりから 2,420 円の大暴落の 45,200 円で終わった。

翌月曜 13 日は、日本はスポーツの日の公休日で現物は休みだが先物は取引していて東京の終わり 47,620 円より 640 円安い 46,980 円であった。

先週金曜日 10 日からの大暴落は公明党連立離脱宣言で市場が期待する高市政権が微妙になり、高市トレードの想定が崩れることを恐れた「間違った想定」に拠るものである。

安倍晋三の政治使命を引き継いだ高市が保守本道を貫く上で邪魔になる中道左派の公明党の離脱は高市にとってもつけの幸いである。

私は高市が自民総裁選後の組閣人事で公明党を冷遇することで公明党を連立離脱に誘導すべきだと主張して来た。

ところが公明党のほうから対自民政策不一致を理由に連立離脱を宣言した。

公明離脱で、高市は誰にも邪魔されず「解党的政権立て直し」と「日本の国際存在感高揚」の理想実現がし易くなって来た。

公明離脱で 10 月 15 日の高市首班指名が危なくなったという想定は間違い。

立憲民主の野田代表主導で立憲民主(衆院数 148)、国民民主(28)、維新(35)の三党に他の野党を加えて玉木首班指名が模索されているがナンセンス！

国民民主は立憲民主と同じ連合が支持基盤だが基本政策は全く異なる。

安全保障政策一つをとって見ても、立憲民主は専守防衛の憲法第 9 条堅持、国民民主は防衛力、抑止力強化、自衛隊の敵地先制攻撃能力支持だから水と油の違いである。

立憲民主野田主導の政策無視の野合はやがて笑いものになるだろう。

高市にとって邪魔な公明(24)に代わって安全保障、外交、財政の基本政策において自民と基本的に一致する国民民主(28)との連立は最適である。

先の衆院選で国民が 7 から 28 議席に躍進出来たのは政治と金の問題で失望した自民支持票が国民支持票に移動したのだから両党は同じ支持票を共有していることになり両党連立は支持者の立場からも合理性がある。

財界、経済界(経営者側)を支持基盤とする自民党と連合(労働者)を支持基盤とする国民民主党

との連立は、経営者と労働者の利益バランスの上からも望ましい。

自民と国民民主に近い政策の無所属議員を 9 名以上自民又は国民が公認すれば自民・国民連立政権は衆院で過半数を超す。

高市は消費税ゼロなど基本政策が異なる維新の会などに声をかける必要はない。

自民・国民民主連立政権なら、高市は強い日本、国際存在感のある日本の理想に向かって馬車馬のように働き易くなり、玉木は言ったことがすべて実現出来る。

自民・国民民主連立の「正しい想定」によりニッセイは「間違った想定」で下げた分を取り返すだろう。

※小冊子 Vol.152 大好評発売中！お申込みは <https://www.musrjec.com/> から

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.152

『戦後 80 年のアメリカと日本』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 152 は**大好評発売中**です。

内容は、**＊戦後 80 年の歴史に終止符を打つアメリカ** ＊トランプと習近平の米中冷戦：子供と大人の喧嘩 ＊第三次世界大戦と新しい世界秩序：習近平の腹の内 ＊アメリカがイギリスになる時：ドルがローカル通貨になる時 ＊日本は「待てば海路の日和かな」：何もしない最良戦略 ＊日本人は恵まれた民族です。価格は、**1冊 5,800 円(送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U. S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。